

ごんた坂

第 7 号

～光陵会同窓会報～

<発行所>
神奈川県立光陵高等学校
光陵会

<印刷所>
株式会社アーツ
(日中央印刷 (株))

2002年度
36th
光陵祭



光陵会会長挨拶

光陵会会長 太田 秀和

今回も皆様のお手元にこの「ごんた坂」をお届けすることができました。

光陵という同じ学び舎を卒業した私達が、この一文を読んでいただくことにより、光陵時代のあの輝いていた時期を思い出していただければ幸いです。

さらに、過去を懐かしむだけの光陵ではなく、現在の皆さんのエネルギー源であってほしい…。

光陵を思う時、必ず仲間の輝いた顔が浮んできます。私達は、すばらしい仲間達と語る時間を持つことができます。

この「ごんた坂」を手にしたことで、仲間と再び語りあうきっかけができれば幸いです。

毎回テーマを決めて制作しておりますが、皆さんからの心のこもった文章がいただけたら、スタッフも力づけられると思います。

どうか長い眼でこの「ごんた坂」を育ててください。

「ごんた坂」はボランティアの皆さんの汗でできあがっています。スタッフの皆さんに心からお礼申し上げます。

光 陵 会 総 会 ・ 同 窓 会

第33回のごあひない 今年は11月16日(土)に開催!

本年度も光陵会総会・同窓会を開催いたします。懐かしい先生方も多数お見えになりますので、年に一度のこの機会に是非ともご参加ください。場所は、横浜駅から地下道で繋がっている横浜スカイビル27階の眺めの良い「横浜クルーズ・クルーズ」です。たいへん便利な場所ですので、会終了後にクラス会や同期会を企画されてはいかがでしょうか。

***お手数ではございますが、ご都合のほどを同封のがきにて11月2日までにお知らせください。**

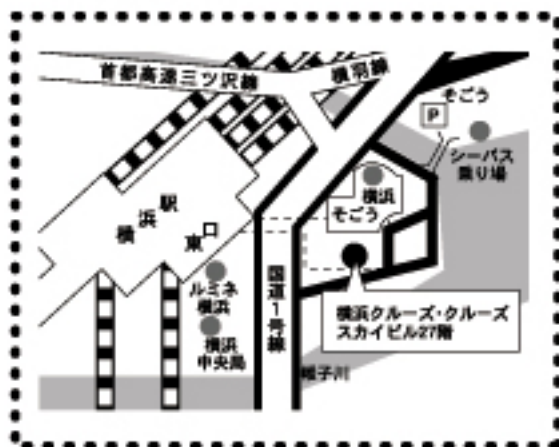
- 日時 平成14年11月16日(土)
14:30より(14:15より受付)
- 場所 「横浜クルーズ・クルーズ」
(横浜スカイビル27階)
- 同窓会会費
一般料金……………おひとり¥6,000
夫婦料金……………ご夫婦で¥9,000
学生料金……………おひとり¥2,000
特別会員(現旧教職員)…………… 無料

※夫婦料金は、パートナーの方が光陵卒でなくても大丈夫です。

※お子様は無料ですので、ぜひ一緒にどうぞ。

<横浜クルーズ・クルーズ案内図>

横浜スカイビル27階



アニバーサリー期の方へ

今年、ご卒業30年、25年、20年、10年にあたる「4期、9期、14期、24期」の皆様を卒業アニバーサリー期として特に多くお集まり頂きたく、当時担任をされていた先生を中心にご出席を予定いただいております。お世話になったあの先生と、思い出話に花を咲かせてみてはいかがでしょうか?

[総会にご出席予定の先生方](9月15日現在 敬称略)

*先生の右の数字はご担任された期とクラスです。

寺沢 精哲	4-1/11-7/15-4/19-5
稲垣 憲一	4-2/7-2
加瀬 均	4-3
後藤 和浩	9-3/13-7
石渡 哲男	9-4
中村 研二	9-6
小木曾悦雄	9-7/13-4/18-8
西川 英雄	9-8/13-2
安野 信	10-6/14-7/21-3
遠田 信吾	20-5/24-7

光 陵 会 総 会

第32回が開催されました

同 窓 会

昨年度総会・同窓会は、平成13年11月11日(日)、横浜みなとみらいクイーンズスクエアの「イエス・ブリーズ」において、開催されました。

15名の現旧教職員の方々と、91名の卒業生およびそのご家族の方々が集い、盛大な会となりました。

また、アニバーサリー期担任の先生方からは一言づつお言葉を頂戴し、当時の懐かしいエピソードなども多数披露されました。

会の結びでは校歌を斉唱し、名残惜しまれる中、三本締めでお開きとなりました。

みじかい回想

山本 勉(第4期生)

漫画家になろうと真剣に思っていたのは、中学生の頃だった。そして、作品をみてもらった赤塚不二夫氏に「だめだよ、中学生がこんなまとまった漫画描いてちゃ。漫画描くことなんて忘れて、映画たくさんみたり、本読んだり、もっと遊ばなきゃ」といわれて、はやくも自分の限界を知ったのも。光陵では、漫画家志望を標榜しながら、美術部で油絵を描いていたが、ある種狂気に似た才能を要する一流漫画家にはとうていなれぬものとすでにあきらめていた。大学で美学をおさめて漫画家になる、と決めていたのだが、手段であったはずの大学志望だけがそのまま残り、美学と美術史をまなべる東京芸術大学芸術学科が志望校となった。私立文系の学科にくわえデッサン実技が受験科目だった。デッサンはそれなりにやったが、学科の勉強はしなかった。三年生になっても、雑誌『光陵』の編集やら何やら、ただただ「光陵の生活」にいそがしかったのだ。そのへんのことは書きはじめるときりがないから書かない。

現役を受験と卒業は1972年の春。札幌五輪があったり、あさま山荘事件があったり、グアム島から横井庄一さんが出てきたり、にぎやかな世相だった。芸大も、そして併願した早稲田も慶応も全敗して、代々木ゼミで浪人生活を送ることになる。受験勉強だけしていればよい単純な生活は不思議に新鮮で、成績は順調にのびた。73年の春には、前年の借りをすべてかえすことができた。

芸大にはいってからは、とにかく飲んで飲んで、嫌というほど自分の凡庸を知り、まさに疾風怒濤の時代だったが、一方で光陵会の役員になって「光陵の生活」がふたたび深まる時代でもあった。会員名簿データ管理や印刷物としての『名簿』編集に熱中した。まだ情報機器は皆無。カード整理を中心とする手

作業ばかりだったが、わたしの情報処理の原点はこのあたりだろう。大学院修士課程の頃もまだ光陵会にかかわっていたが、77年版『名簿』に執筆した、長文の編集後記「会員名簿のあゆみと実際」を読むと、自分の文体がその頃できあがったこともわかる。

話が前後したが、大学では仏像を中心とする日本彫刻史を専攻した。二年生の秋に、古美術研究旅行でみた暹羅の大日如来像(奈良・円成寺蔵)に感動してのことである。美学も、そして入学直後ちょっと関心をもった初期ルネサンス絵画もどこかへいってしまった。その像についての卒業論文を書いて、大学院にはいった。以来わたしはずっと日本彫刻史の研究者である。仏像をしらべること、仏像やその歴史を書くこと、語るものがわたしの生涯のしごとになった。修士に3年いて修士論文を書き、博士にすすんだが、東京国立博物館の研究員に採用されることになり、1年で中退した。1981年の春だった。

芸大も東京国立博物館も上野にある。もう上野での生活が30年めになった。博物館での職掌はさまざまにかわったし、そもそも研究は本務ではない。博物館じたいの方向も社会の変化に翻弄されてゆれうごいている。不満も不安もあるが、ともあれ専門の勉強をつづけてこられたことには満足している。

数年前から、光陵のメーリングリストというのができて、自分の情報を同窓生に自由に発信できるのはうれしい。「光陵の生活」三たびの深まりである。おおぜいの同窓生があつまって、わたしの担当した展示をみてくれたことも何度かあった。そして、今春から渋谷の、あるカルチャーセンターで月一度、日本彫刻史の講座をもっているが、案内でわたしの名をみつけた数人の同窓生が、熱心に受講してくれている。えがたいしあわせである。

特集 | 学校週5日制と それに伴う2期制について

皆さまご存知の通り、2002年度より新教育課程が施行され、完全週5日制が公立校で実施されています。光陵高校では、それに伴い、2002年度より2期制も併せて実施されています。一部の高校ではすでに実施されていたようですが、これによって、従来の1・2・3学期といったものから、前期・後期といった、大学のようなカリキュラムとなり、定期テストや、成績評価もそれに合わせて変わりました。定期テストも年4回となり、前期中間テストも従来よりも繰り下がりが6月上旬、期末テストは夏休み明け9月上旬になりました。まだ、始まって数ヶ月なので分からない面も多いですが、先生や生徒にはどのような変化が起きているのか、取材したことを中心にお伝えしたいと思います。

まず、中間テスト直前に、先生方に、始まって1ヶ月強の印象についてお伺いしました。そこでは、週休2日になったことで、忙しくなったとお答えになった先生が多く見られました。今までは、土曜の午後などに学校でしていた仕事を、これからは終わらなかった場合には家に持ち帰らなければならないといったことが主に挙げられます。また、委員会などにおいても、今までは土曜の午後に活動していたものが、これからはできなくなるといった心配をはじめとして、生徒のほうも忙しくなるのでは、といった懸念も多く上がりました。他にも、空いた土日の使い方として、1、2年生は部活、3年生は勉強に使っているのかな、といったものや、授業自体の時間の絶対数が減り、どうなるのかといったものもありました。そして、中間テストに向けての印象もたずねてみたところ、やはり範囲が広がって生徒が大変になるのでは、といったものや、範囲が変わって今までと区切る場所が違ってくるので大変といった意見や、範囲が広がったので、中間テスト前に一度小テストを行ったという先生もいらっしゃいました。総合的にまとめてみると、「ゆとり教育」というのに、先生も生徒もゆとりが逆になくなってしまった、という印象を受け取れました。

さらに、中間テストが終わってみてから、先生に再び取材を試みましたが、テストの結果について伺ってみました。結局1年生は今までの制度を経験していないので変化といったことはいえないけれども、2、3年生に関しては、点数の高い生徒と低い生徒の差が大きくなったのではないかと先生もいらっしゃいました。そして、夏休み明けに期末テストがあることについても、生徒は夏休み中に勉強しなきゃならないという思いが多くなるのか、それとも逆にやる気がなくなってしまうのか、といった不安もありました。

そして、一方の生徒の方はどうかということで、数人の生徒に聞いてみましたが、大きく分けて2つの意見に分かれました。1つは、今までは中間テストが終わってすぐに期末テストになっていたけど、これからは間隔が広くなり余裕ができたというものであり、もう1つは逆に、夏休み明けにすぐテストがあるのはだるいし、夏休み中もそのことを考えなければならないと思うと辛い、といったものでした。後者はある程度予想が付きましたが、前者に関しては、なるほど、そうなのかといった印象を与えてくれました。

これらの取材を通しての感想としては、もちろん始まってまだ数ヶ月で、一通り終わったわけではないのでそんなに多くはコメントできないとは思いますが、今のところでは、先生や生徒に少し忙しさやとまどいがみられるのかなといった印象があります。第2・第4土曜日が休みになったときも、みんなある程度とまどいがみられたけれど、だんだん時間が経っていくにつれ慣れていったように思うので、これも時間をかけてみれば、いいところとかが見つかるのかなとも思いました。

最後に、取材に協力してくださった先生や生徒のみなさん、そして取材に手伝ってくれた方々、大変ありがとうございました。

光陵会会計報告

2000 年度決算

〔収入の部〕		〔支出の部〕	
入会費・終身会費	2,599,475	通信費	1,437,555
同窓会会費	198,000 (*1)	印刷費	600,387
雑収入	4,763	事務費	10,710
賛助金	362,000	運営費	196,051
前年度繰越金	8,714,875	交通費	34,850
合計	11,878,913	同総会費	251,345 (*2)
		HP運用費	11,760 (*3)
		合計	2,542,458
		収支差引金額	9,336,455

(*1)

(1期～20期)	7,000x24名	168,000
(21期～)	5,000x2名	10,000
(学生)	3,000x2名	6,000
(特別会員より)		10,000
(同窓会賛助金として)		4,000
合計		198,000

(*2)

ブリーズベイホテル会場費	221,413
景品、カメラ・写真代etc...	29,932
合計	251,345

(*3)

運用費(月額980円)12ヶ月分	11,760
------------------	--------

2001 年度予算

〔収入の部〕		〔支出の部〕	
入会費・終身会費	2,600,000	通信費	1,000,000
同窓会会費	300,000	印刷費	600,000
雑収入	21,000	事務費	15,000
賛助金	200,000	運営費	200,000
前年度繰越金	9,336,455	交通費	35,000
合計	12,457,455	同総会費	350,000
		HP運用費	121,780
		設備費	200,000
		合計	2,521,780
		収支差引金額	9,935,695

この度、光陵会運営のため賛助金を募りました。以下の通り皆様の温かいお心遣いをいただきましたことを深く感謝いたしますとともに、ここにご報告します。
今後も引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。

光陵会賛助金芳名簿

*一部を除いて敬称略/平成14年8月31日現在

石渡 哲男(現校長)	藤村利雄(旧職員)	赤尾由紀子 (5-1)	宮本 英光 (9-4)	高橋 泰子 (22-9)	伊藤 栄子様
尾高 尚俊(旧職員)	平瀬 修三(旧職員)	古藤田謙治 (5-1)	佐藤 史子 (14-3)	小野田 稔 (23期)	鈴木 博英様
徳川 篤(旧職員)	村瀬 克己(旧職員)	橋本 和彦 (6-4)	小倉 啓子 (17-8)	山口 藤三 (25-3)	
豊田 敏明(旧職員)	加田利雄(旧職員)	渡邊 哲行 (9-3)	清水 貴人 (21-2)	中山 智代 (28-6)	

進路状況

今年も光陵生は頑張りました!!

〔国立・公立大学〕

学校名	総数	現役
京 都	2	2
神 戸	1	1
信 州	1	1
千 葉	2	
筑 波	3	2
電気通信	2	
東 京	1	
東京外国語	1	
東京学芸	1	1
東京工業	7	4
東京農工	1	
東 北	1	
名 古 屋	2	
一 橋	1	1
北 海 道	3	2
横浜国立	10	5
東京都立	5	3
横浜市立	6	4

〔私立大学〕

学校名	総数	現役
青山学院	27	16
学習院	7	4
神奈川	24	13
北 里	8	4
慶應義塾	38	20
国際基督教	1	
芝浦工業	24	8
上 智	12	7
昭和薬科	1	1
成 蹊	6	3
成 城	8	5
中 央	32	19
東 海	19	6
東京女子	5	5
東京女子医科	3	3
東京農薬	4	2
東京理科	36	11
同志社	2	
日 本	17	9
日本女子	12	9
法 政	19	18
星 薬 科	3	1
武蔵工業	11	8

学校名	総数	現役
明 治	35	10
明治学院	28	16
立 教	29	18
立 命 館	6	3
早 稲 田	44	22

部活実績

水泳	県大会 山口綾乃 400m自由形1位
剣道	県選抜 女子出場(ベスト16)
囲碁	女子 県大会団体戦優勝 関東大会団体戦ベスト4
文芸	男子 県大会団体戦ベスト8 神奈川県文芸コンクール 高文連会長賞受賞

平成14年度異動

【転出・退職】

教頭	加藤 弘	(2年)	退職
国語	佐藤 一義	(12年)	平安高校へ
社会	高橋 富雄	(5年)	退職
数学	黒田 弘	(1年)	鎌倉養護学校へ
保健体育	城所 富夫	(7年)	氷取沢高校(教頭)へ
英語	濱砂 伝市	(5年)	鶴見養護学校へ
養護	田中 富美栄	(4年)	上矢部高校へ
事務	石田 佳子	(3年)	岡津高校へ
技能員	小田倉 由美子	(4年)	鶴見養護学校へ

* ()内の年数は、本校在職年数を示します。

【転入】

教頭	坂東 哲夫	瀬谷西高校から
国語	安西 功	和泉高校から
数学	渡路 由雄	上矢部高校から
保健体育	松村 秀幸	瀬谷西高校から
保健体育	山崎 正俊	商工高校から
英語	西澤 範子	富岡高校から
技能員	柳谷 久子	保土ヶ谷高校から

訃報

光陵高校初代校長原田實三氏が、平成14年3月29日に御逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

〈会員名簿の取扱について〉

光陵会の名を騙り、会員の皆さまの勤務先の問い合わせや勧誘・物品販売等様々なダイレクトメール・電話勧誘があるようですが、光陵会とは一切関係がありませんので内容を御確認の上御対応下さいませよう御願ひ申し上げます。

また、当然のことながら光陵会では第三者に名簿は配布しておらず、会員各位のデータが外部に漏れないよう、細心の注意を払い対応しております。皆さまも名簿の取扱には十分注意の上、外部流出がないよう御願ひ致します。

加えまして、来年度は前回の名簿発行から5年が経過していることから、新規の名簿発行を予定しております。つきましては来年度に限ります。従前より光陵会の会員情報管理を委託しております株式会社アーツより会員の皆さまの異動の有無につきましてお問い合わせをさせていただくハガキをお送りさせていただく予定しております。会員の皆さまには情報更新の協力をお願い申し上げますとともに、名簿の掲載を望まれない情報がありましたら、あわせて御連絡下さいませよう御願ひ申し上げます。

〈寄稿のお願い〉

光陵会では、会員の皆様楽しんでいただけるような会報「ごんた坂」を目指しております。とはいっても、創刊からまだ第7号。どんな記事を書けばよいのか、役員皆様をかかえております。

そこで皆様へお願いです！会報記事の寄稿へご協力ください！「私は今、こんなすごいことをしています」とか「光陵のOB-OGでこんな活動をしているよ」など、どんなことでも結構です！寄稿と言う形ではなくても「いついつに〇〇を開きます」などの情報でもOK！お気軽に下記「光陵会」までご一報ください。

光陵会では、会員の皆様の活動を応援します！

宛先：〒240-0026

横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1
神奈川県立光陵高校内「光陵会」

〈賛助金のご協力をお願いします〉

毎年賛助金のお願いをしております。今年7月31日までに総計〇〇円もの賛助金をいただき、役員一同皆様のご理解とご協力に感謝しております。このことにつきましては光陵会運営資金残高が1,000万円を超えていることから、賛助金をご依頼させていただくことについて疑問であるとの貴重なご意見もいただきますが、長期的に見ますと依然、運営資金の逼迫する危機が迫っている状況にあるため、今年度も引き続き以下のように会員の皆さまから賛助金を募ることに致しました。何卒、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

1. 金額

1口 1,000円
何口でもかまいません。

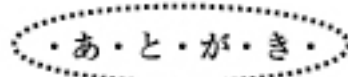
2. お支払い方法

① 郵便振込み

口座番号：00220-5-0021817
加入者名：光陵会

② 銀行振込み

横浜銀行緑園都市支店
口座番号：367-1187951
名義人：光陵会



今回で第7号を迎えた光陵会会報、いかがでしたでしょうか。今年はワールドカップイヤーということでしたが、その熱気に負けないくらい、熱い会報を目指し、スタッフ一同がんばってまいりました。33回光陵会総会・同窓会も楽しめる内容となっておりますので、みなさまお誘いあわせのうえご参加ください。

会報や光陵会の活動に関するご意見・ご感想等ございましたら、「光陵会」までお寄せください。どうぞよろしくお願い致します。

会報の発行にあたり、多くの方々のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。会員の皆様のご多幸をお祈りしつつ、あとがきに代えさせていただきます。